

| 1 学校教育目標 | |
|---------------------------------|--|
| ○やさしい子 ○かしこい子 ○たくましい子 | |
| 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像 | |
| ○学校像 | ◎やる気いっぱい やさしさいっぱい やりとりいっぱい 中川東小 ○子供たちにとって大好きな学校、未来に亘って居場所となる学校 ○教師にとってやりがいをもって教育に邁進する学校 ○保護者や地域の方々にとって誇りに思う学校 |
| ○児童・生徒像 | ◎やさしく かしこく たくましい子 ○誰とでも仲良く分け隔てなく接する子 ○よく考え、すすんで学ぶ子 ○心身を鍛え、様々なことに挑戦する子 |
| ○教師像 | ◎子供たちを愛し、子供たちを伸ばし、教育への情熱を燃やす教師 ○常に子供の心の傍にいて、一人一人の子供のよさや可能性を最大限に伸ばす教師 ○「教師は授業が命」と授業づくりに熱心に取り組む教師 ○豊かな感性としなやかな対応力をもち、人間味あふれた教師 |
| 3 学校の現状及び前年度の成果と課題 | |
| [学校の現状] | |
| ○児童について | 素直で優しい児童が多い。人とかかわる活動を楽しんで行うことができる。また、与えられた課題には一生懸命に取り組む姿が多く見られる。さらに、自ら課題を見つけ解決していく力を育てていきたい。 |
| ○教師について | 若手教員と若手を育てるベテラン教員とが共に「チーム中川東」として、児童の視点を大切にした教育活動を推進している。常に児童と共にある教師集団であり、「教師は授業が命」を合言葉に授業力向上に切磋琢磨している。 |
| ○保護者・地域について | 地域の温かさに包まれている学校である。「PTA」「開かれた学校づくり協議会」等を中心に、積極的に教育活動に協力いただいている。一昨年度の創立40周年記念事業の大成功が、学校・保護者・地域の一体感をより一層強いものとしている。 |
| [前年度の成果と課題] | |
| ○教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る。 | 校内研究・管理職による授業観察・教科指導専門員による訪問指導等を通して、常に授業をオープンにして授業研究に努めることで授業力向上が図られてきた。また、花丸教室（放課後補習教室）・そだち指導等では個に応じた指導を充実させた。区学力調査（目標通過率74.3%）の分析を徹底して行い、習熟できていない部分の指導に力を入れた。家庭学習の徹底を図るとともに自学ノートを活用し、学力向上を図っている。新しい文章を読み解く力が課題。基礎基本の定着とともに「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に努める。読書環境を整えることも必須事項である。 |
| ○児童が安心して学べる教育環境を整える。 | コロナ禍であっても「一人一人を大切にせる教育」により一層力を注いできた。制約のある中ではあったが、人とかかわる楽しさを存分に味わわせ |

るのが本校の特色である。各学校行事を工夫を凝らして行い、児童の自己肯定感につなげることができた。いじめの早期発見・早期解決にも努めた結果、いじめ解決率は100%である。年2回のHyperQ-U検査を最大限に活用し、より温かく高め合える集団づくりに努めてきた。42周年の歩みを始める本校がいつまでも児童の居場所となるように、今後も教育活動を力強く推進する。創立40周年で整った教育環境をさらに充実させていく。

○保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。

春の休校期間を経て、常に保護者や地域と連携をとる必要性が高まり、新たな連携のあり方を模索することができた。学校メールへの登録率は100%達成。ホームページの更新率・アクセス数も大幅に伸ばすことができた。PTA活動ができなかった代わりに登下校の見守りをお願いしたが、そこで生まれる会話からも信頼関係を築くことができた。保護者や地域とのコミュニケーションが深まり、心の通った連携が築かれつつあることを手ごたえとして感じている。忙しく働いている家庭が多い中、「共に育てていく」という土壌を耕し、保護者・地域と心をつなげた学校経営を行う。

4 重点的な取組事項

| | 内 容 | 実施期間（年度） R:令和 | | | | |
|---|---------------------------------------|---------------|----|----|----|----|
| | | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
| 1 | 学力向上アクションプラン～教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る～ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 児童が安心して学べる教育環境を整える。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

5 令和3年度の重点目標

| 重点的な取組事項－1 | | 学力向上アクションプラン | | | | | | | |
|---------------|--------------|---|-----------------|-----------------------------|------------|-------------------------------|------|-------------|-------------|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 (目標通過率) | 実施結果 (通過率結果) | | コメント・課題 | | | 達成度 ◎○△● | |
| 児童の学力向上を図る。 | | 令和3年度区学力調査 目標通過率80%以上 2月実施の定着度確認テスト で目標値を通過する対象児童 80% | | | | | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | | | | | |
| 新・継 | アクション プラン | 対象教科 実施教科 | 頻度・ 実施時期 | 具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように) | 達成確認 方法 | 達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度) | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 ◎○△● |

| | | | | | | | | | |
|----|-----------------|---|---|--|---|---|--|--|--|
| 改善 | ICT 機器の活用 | 全学年 | 毎日 (家庭学習も含む。) 通年 | ICT 機器を活用した主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行う。 ・双方向型の一斉授業実現 ・リアルタイムの考え共有 ・調べ学習の充実 | 児童アンケート 教員アンケート | ・週3回以上児童用タブレットを用いた授業を実施した教員80%以上 (1人1台端末環境が整った後) | | | |
| 改善 | 校内研究による教員の授業力向上 | 全教員・全児童教科 | 研究授業(7回) 研究発表会(「開かれた学校づくり協議会」・近隣ブロックへ) | 学力向上に直結する教員の授業力向上を図る。 ・「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善 ・話し合い・交流で自分の考えを深める授業展開 ・児童の発表の場の設定 ・書く力の育成(全国学力)週1回100文字作文 | 児童アンケート 教員アンケート 全国学力調査 都・区学力調査 | ・R3全国学力調査にて記述式無答率0% ・区学力調査にて目標通過率80%以上 | | | |
| 改善 | 読書環境の充実 | 全教員・全児童 国語 図書 | 年3回の読書月間 通年 | 読書環境の充実を図り、本にすぐ手を伸ばす子を育てる。 ・国語関連図書の充実 ・「調べる学習コンクール」への応募 ・ビブリオバトルの実施 ・本の展示を中心に据えた教室環境 | 読書量調査 コンクールへの応募数 | ・読書量調査で目標を達成する児童90%以上 | | | |
| 継続 | 花丸教室(放課後補習教室) | 全学年 目標値を達成していない児童 正答率75%未満 国語と算数 | 毎週 火・木曜日 放課後30分間 | 一人一人のつまずきに応じた個別指導を徹底し、苦手意識の早期解消を図り学習意欲を喚起する。 ・全教員による全校体制 ・使用教材は、プリントとベーシックドリル ・学力ポートフォリオによる指導内容の精選 | 定着度確認テスト(2月実施) 教員自己評価アンケート | ・定着度確認テストで目標値を通過する対象児童80% ・教員自己評価肯定的回答85%以上 | | | |

| | | | | | | | | | |
|----|--------------------|--|-----------------------------------|--|---|--|--|--|--|
| 改善 | 家庭学習の徹底 | 全学年 全教科 主に国語 と算数 自主学習 (3年生 以上) | 毎日 キャン ペーン は 年10回 | 授業の充実・個に応じた指導・家庭学習の徹底は学力向上のトライアングル。より一層の家庭学習の徹底を図り、学力向上につなげる。 ・年10回の「家庭学習キャンペーン」の実施 ・自主学習のモデルを参考に実施・教室内への展示 ・自学ノートコンクール | 宿題提出状況 調査 年3回 自学ノートの点 検・相互評価 | ・家庭学習カード 提出率100% ・宿題提出率 100% ・自主学習提出 100% ・学校評価アンケート 肯定的回答 90%以上 | | | |
| 継続 | パワーアップタイム (朝学習) | 全学年 国語と算 数 | 毎週 火・水曜日 始業前 15分間 | 反復練習により学習内容の基礎基本の定着を図る。 ・一日の学習のリズミカルなスタートの習慣化 ・5分間で取り組める読解問題中心の教材を活用 ・主に担任と副担任で行う。 | 毎回のドリルの 自己採点・記録 | ・毎回のドリルの 正答率 85%以上 | | | |

| | | | | | | | |
|------------------------|----------------------------------|---|--|-------------|--|----------------|------------|
| 重点的な取組事項－2 | | 児童が安心して学べる教育環境を整える。 | | | | | |
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | | 実施結果 | | コメント・課題 | 達成度 |
| 児童にとって安全・安心な学校生活を確立する。 | | 学校評価アンケート「安全・安心に関する項目」：肯定的回答90%以上 | | | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | | 実施結果 | | コメント・課題 | 達成度 |
| 子供の心を育てる 教育活動の充実 | 「生活指導・特別活動に関する項目」： 肯定的回答90%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・「人とかかわる活動」の意図的・組織的展開 ・縦割り班活動の充実 ・気持ちのよい挨拶の徹底 ・人権尊重教育の徹底 ・全員合唱『いのちの歌』 | | | | | |

| | | | | | |
|---------------|-----------------------------|--|--|--|--|
| いじめのない学校生活の充実 | いじめ解決率 100% | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを許さない校風醸成 ・いじめの起こらない学年・学級経営 ・HyperQ-U 検査の活用 ・早期発見・早期解決 | | | |
| 安全・安心な学校の整備 | 「学校施設の安全に関する項目」：肯定的回答 90%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の施設点検の徹底 ・創立 40 周年レガシー堅持 ・花があふれる環境づくり ・オリンピック・パラリンピックに関連した環境整備 | | | |

| | |
|-------------------|--------------------------|
| 重点的な取組事項－3 | 保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。 |
|-------------------|--------------------------|

| A 今年度の成果目標 | 達成基準 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
|---|--|------|---------|-----|
| 保護者や地域との連携を図り、「創立 40 周年、その後」の教育活動を充実する。 | 学校評価アンケート「家庭や地域との連携に関する項目」：肯定的回答 90%以上 | | | |

| B 目標実現に向けた取組み | | | | | |
|------------------------------|---|--|------|---------|-----|
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 保護者との共育体制の確立 | 学校公開参観率 85%以上 学校行事参観率 95%以上 登下校見守り参加率 90%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業公開・学校行事の内容の充実、参観率の向上 ・通信・HP・学校メール等による情報発信の充実 ・登下校見守りによる双方向の情報共有 | | | |
| 子供の夢を育む周辺教育施設との連携強化 | 「幼保小中高との連携に関する項目」：肯定的回答 90%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・こども園・保育園との日常的交流の充実 ・小中連携の強化（学びのスタイルや自学の統一） ・足立東高との連携の継続（吹奏楽・陸上・挨拶等） | | | |
| 「開かれた学校づくり協議会」を中心とした地域との連携強化 | 「家庭や地域との連携に関する項目」：肯定的回答 90%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・創立 42 周年の歩みの共有 ・協議会活動内容の情報発信 ・地域人材の新規発掘及び連携強化 ・避難所開設・運営における協力体制の強化 | | | |